
日本経済展望

2022年10月



調査部 マクロ経済研究センター

<https://www.jri.co.jp/report/medium/japan/>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピック	p. 7
◆見通し	p. 8
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	北辻 宗幹	（ Tel: 080-3727-6569 Mail: kitatsuji.kazuki@jri.co.jp ）
現状分析	古橋 健司	
家計部門	小方 尚子	
外需	内村 佳奈子	
金融	白石 尚之	

◆本資料は2022年10月13日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記urlから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。

新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。

<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

経済・政策情報メール
マガジン配信中！



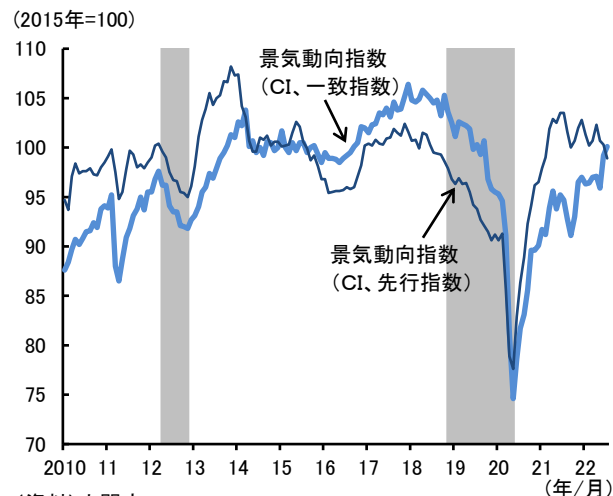
Twitterアカウントも
開設しました！



概況：景気は緩やかに持ち直し

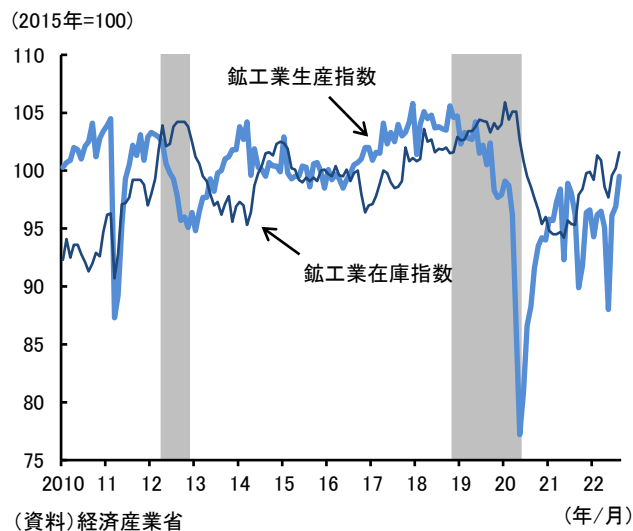
景気

景気動向指数は一致指数が上昇、先行指数は低下傾向



企業

鉱工業生産は、生産用機械、鉄鋼・非鉄金属などを中心に増加



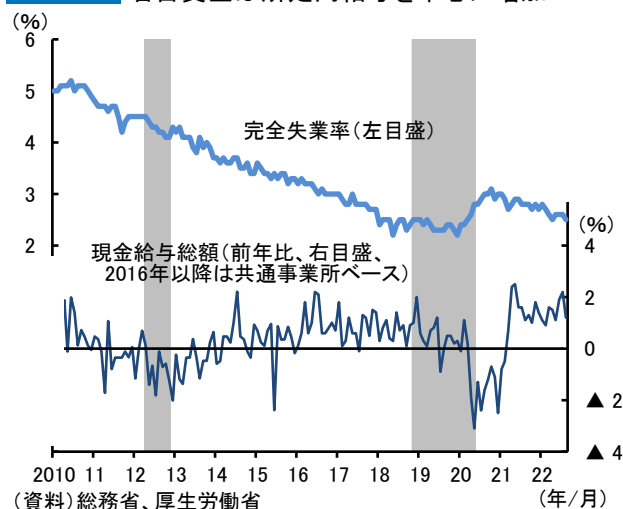
外需

輸出は自動車や資本財が増加基調
輸入は内需の持ち直しを背景に大幅増



雇用所得

失業率は2%台半ばで推移
名目賃金は所定内給与を中心に増加



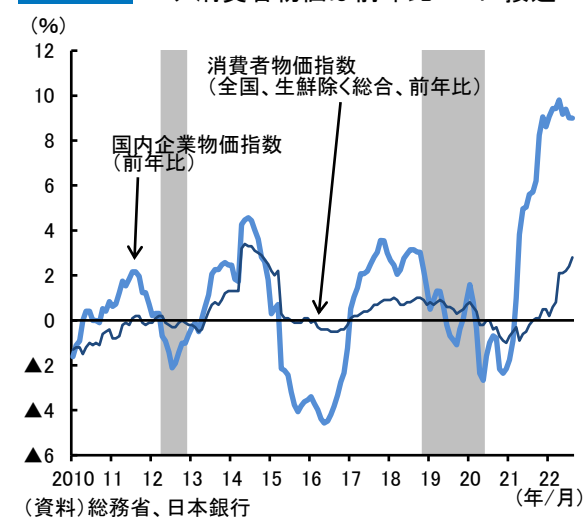
家計

消費は一進一退
住宅着工は年率90万戸まで回復



物価

企業物価は高い伸びが持続
コア消費者物価は前年比3%に接近



※シャドー部は景気後退期。

企業の景況感は製造業が悪化、非製造業は改善

◆企業の景況感は二極化

日銀短観9月調査では、大企業・製造業の業況判断DIは前回調査対比▲1%ポイントと3四半期連続の悪化。資源高や円安を背景とした原材料コストの増加が素材業種の景況感を下押し。

一方、大企業・非製造業の業況判断DIは同+1%ポイントと2四半期連続で改善。新型コロナの感染再拡大によりサービス消費の回復が一服したことで、消費関連は伸び悩んだ一方、建設、物流関連など幅広い業種が改善。

◆製造業の生産活動は持ち直し

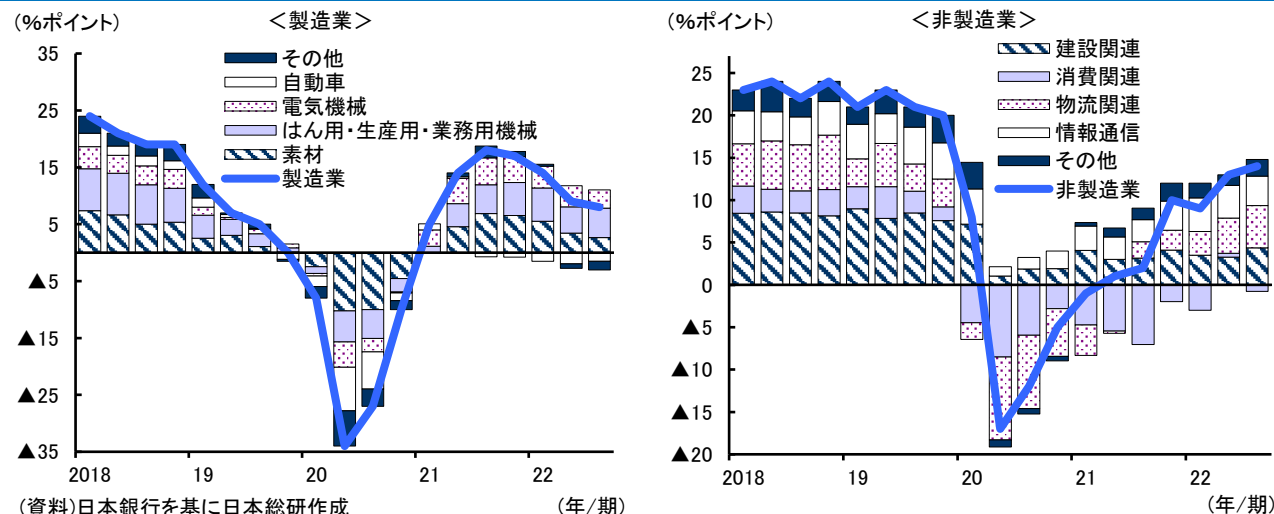
8月の鉱工業生産指数は前月比+2.7%と3ヵ月連続の上昇。業種別にみると、生産用機械工業や鉄鋼・非鉄金属工業など全15業種のうち10業種が上昇。先行きの生産計画では、9月が前月比+2.9%、10月が同+3.2%と増産を予定。

もっとも、9月に相次いで発生した大型台風の影響で一部の工場が稼働を停止したほか、中国のロックダウンの継続などにより供給制約が再び強まっており、計画値ほどの高い伸びの実現は見込み薄。

◆非製造業の生産活動も回復の兆し

7月の第3次産業活動指数は、コロナ前の96%の水準まで回復。この背景として、DXや5G関連の堅調な需要を受けた、情報通信業の活況が指摘可能。

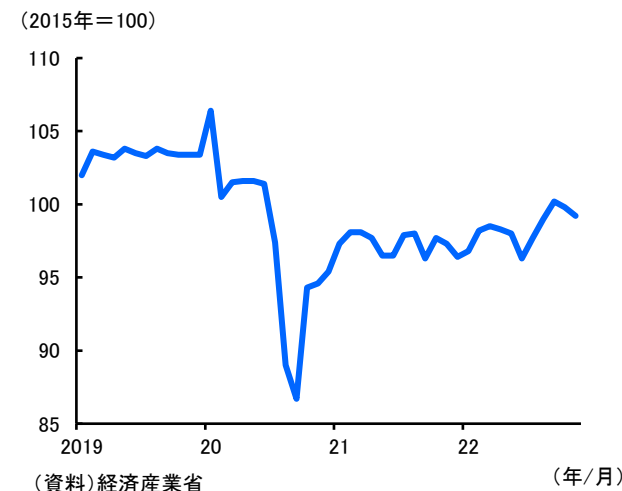
大企業の業況判断DI



鉱工業生産指数(季調値)



第3次産業活動指数(季調値)



財輸出は底堅く推移、インバウンド需要は徐々に回復へ

◆電子部品・デバイスが弱含み

輸出は全体として増加基調を維持。世界的なスマートフォン販売の不振などを背景に、電子部品・デバイスが減少したものの、部品の供給制約が緩和した輸送機械が増加したほか、世界的に堅調な設備投資を背景に、資本財も高水準を維持。

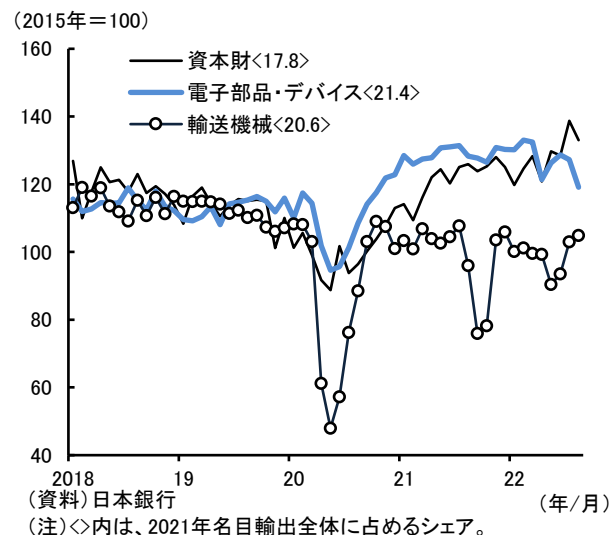
先行きを展望すると、輸出の伸びは緩やかにとどまると予想。日銀短観9月調査によると、大企業・製造業の海外での製商品の需給判断DIは先行き低下が見込まれており、外需は鈍化する可能性。品目別では、供給制約の余波で受注残が積み上がっている自動車は相応の増加余地があるものの、電子部品・デバイスの需要減少が輸出全体を押し下げる見込み。

◆政府は水際対策を緩和

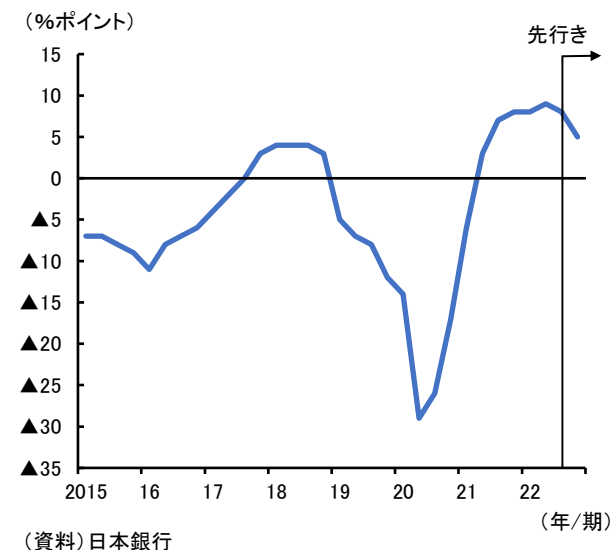
8月の訪日外客数は16.9万人と、入国者数の上限の3割弱にとどまる状況。

政府は10月11日より水際対策を一段と緩和し、①入国者数の上限を撤廃、②個人旅行の解禁、③短期滞在者へのビザの免除などを実施。円安の進行も追い風となり、インバウンド需要は徐々に増加する見通し。ただし、2019年の訪日外国人の4割弱を占める中国・香港では、ゼロコロナ政策により海外渡航が制限されていることから、訪日客の急速な回復は見込みにくい状況。

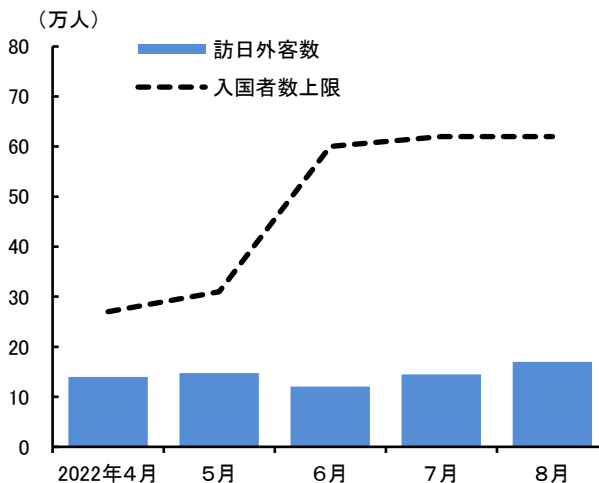
品目別実質輸出(季調値)



海外での製商品需給判断DI(大企業・製造業)

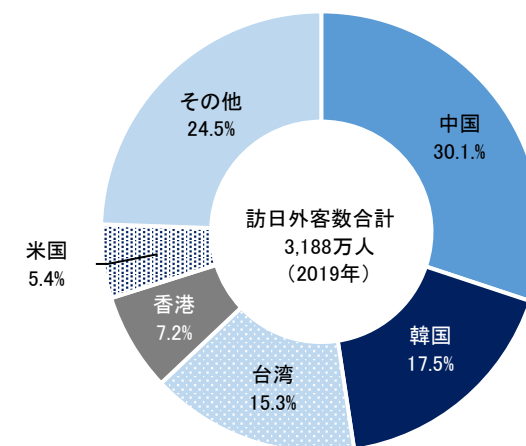


入国上限数と訪日外客数



(資料) 日本政府観光局、各種報道を基に日本総研作成

訪日外客数の割合(2019年)



(資料) 日本政府観光局を基に日本総研作成

高水準の企業収益が設備投資を下支え

◆企業収益は増益基調

法人企業統計によると、4～6月期の経常利益は、全産業で前期比+5.5%と3四半期連続の増益。売上高経常利益率は、7%と過去最高水準。円安や資源高を受け原材料コストが増加した一方、企業は販管費などの変動費や人件費を抑制。また、円安には為替差益や受取配当金などの収益を押し上げる効果もあり、海外展開が進んでいる大企業を中心に営業外収益が大幅に増加。

先行きを展望すると、国内景気の回復を背景に、企業収益は高水準で推移する見通し。

◆設備投資は持ち直し

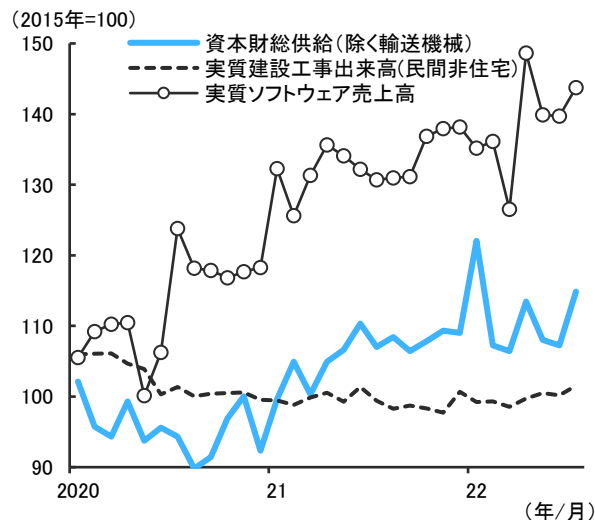
7月の設備投資は、4～6月期に引き続き増加基調を維持。ソフトウェア投資や機械投資が好調を維持したほか、建設投資も緩やかに持ち直し。

先行きも、高水準の企業収益が下支えとなり、設備投資は回復基調が続く見通し。日銀短観の2022年度設備投資計画は、全規模全産業で+17.4%と、9月調査としては調査開始以来最高の伸び。企業の旺盛な投資姿勢は継続。

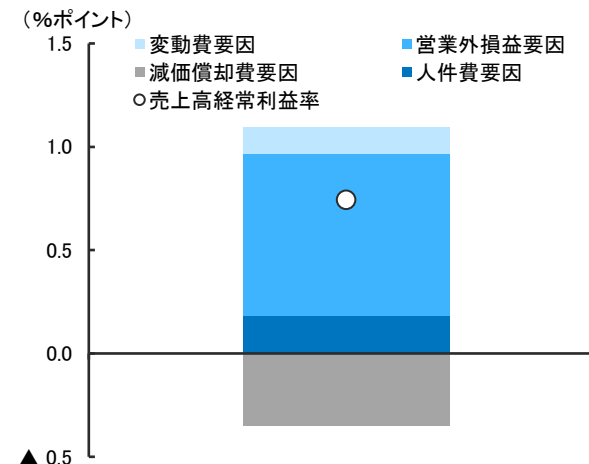
経常利益と売上高経常利益率(季調値)



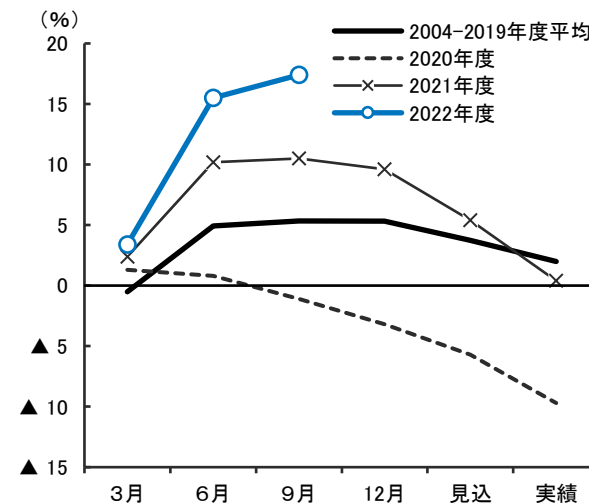
形態別の民間設備投資(季調値)



売上高経常利益率の変化



設備投資計画の足取り(全規模、前年度比)



物価高が実質賃金を下押し

◆人手不足感が強まり

景気が持ち直すなかで、雇用環境は改善傾向。就業者数は、コロナ前の水準を回復。宿泊・飲食など対面型サービス業では、非正規雇用の回復が遅れているほか、省力化を進める建設業や製造業でも就業者数が減少。一方、医療福祉、情報通信などのサービス業で正規雇用が増加。

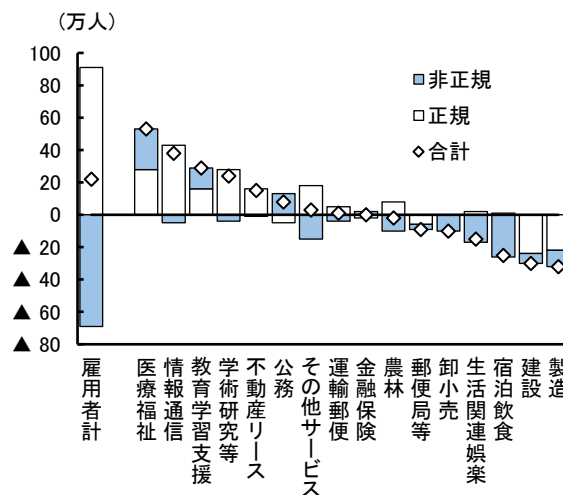
企業の人手不足感はコロナ前のピークに迫っており、就業者数は緩やかに増加する見通し。業種別では、サービス消費が回復するにつれて、宿泊・飲食業などが増加する見込み。

◆実質賃金は減少

8月の現金給与総額は前年比+1.2%と、所定内給与を中心に引き続き増加。ただし、実質賃金は、物価上昇が下押しに作用し、同▲0.9%の減少。今春の賃上げ率も、ベースアップの拡大を背景に昨年を上回ったものの、低調だった前年の反動増という面が大きく、実態としての増勢は微弱。

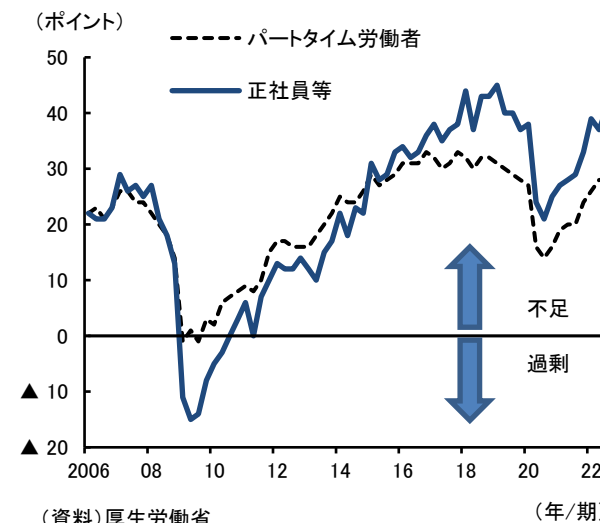
先行きは、①人手不足感の強まり、②最低賃金の引き上げ、③物価高をベアに反映させる動きなどを背景に、名目賃金は一般・パートともに緩やかな上昇が続く見込み。ただし、内外経済の先行き不透明感は強く、多くの企業が慎重な賃金設定スタンスを維持するため、物価上昇を上回る賃金上昇には至らない見通し。

雇用者数変化の内訳(2019年8月→22年8月)



(資料)総務省
(注)役員除く雇用者。

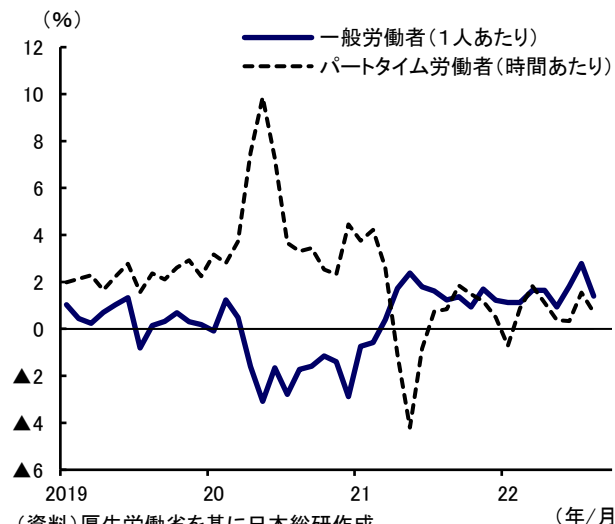
過不足状況判断DI(不足一過剰)



(資料)厚生労働省

(年/期)

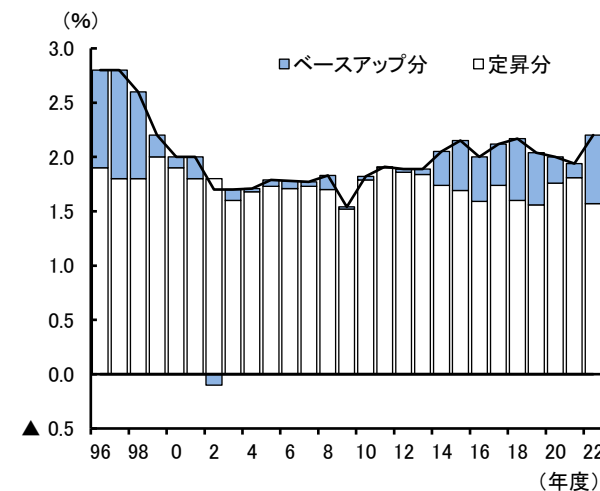
名目賃金(前年比)



(資料)厚生労働省を基に日本総研作成
(注)共通事業所ベース。

(年/月)

春闘賃上げ率



(資料)中央労働委員会、連合
(注)22年度は連合集計値。

(年度)

感染者数の減少とともに消費は持ち直し

◆個人消費は持ち直しの動き

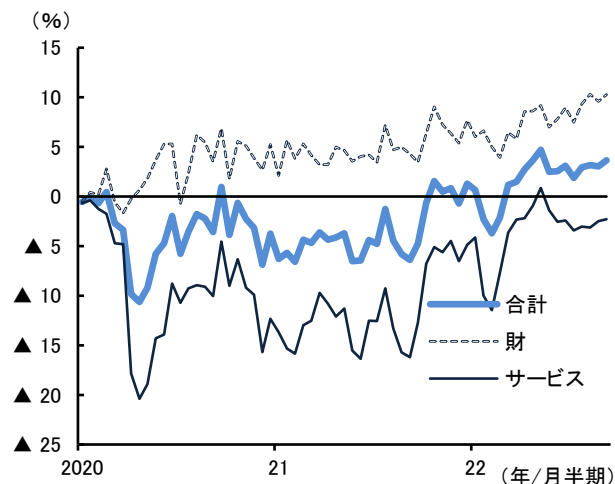
個人消費は、9月以降、全国的な感染者数の減少を受けて持ち直し。都道府県内の旅行への補助金を支給する「県民割」や近隣県まで対象を広げた「地域ブロック割」が旅行支出を後押し。もっとも、台風など悪天候がサービス消費を下押し。

財消費については、物価先高観を背景に、百貨店の高級品販売などが好調である一方、自動車販売は低迷。中国における都市封鎖の影響などサプライチェーンの混乱に伴う納期遅れが長期化。

◆物価高が懸念材料

先行きの個人消費はサービス消費のペントアップ需要を中心に回復する見込み。10月11日に開始された「全国旅行割」が旅行支出を押し上げる見通し。ただし、消費者物価の上昇が、食品、エネルギー等の生活必需品を中心に本格化。値上げの動きは、一部家電などにも広がっており、家計の負担が増加。コロナ禍で期せず積み上がった過剰貯蓄や政府による対策などが物価高による悪影響を緩和すると見込まれるものの、消費者の節約志向の高まりなどが、消費回復を頓挫させるリスクに注意が必要。

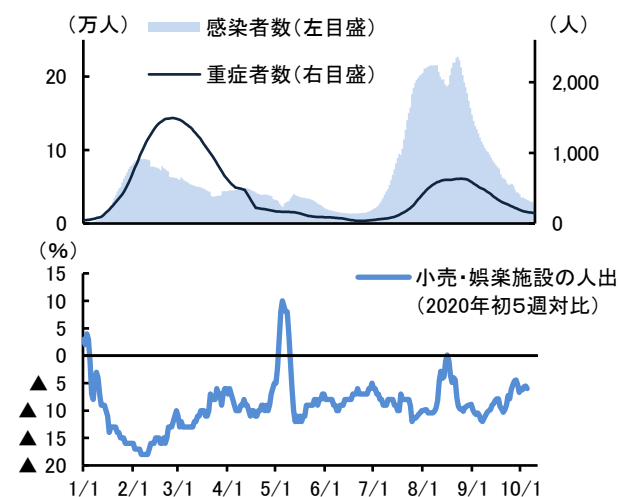
国内家計の消費額(2016~18年平均対比)



(資料)JCB消費NOW

(注)クレジットカードの利用額を基に作成された消費統計。

感染者数と小売・娯楽施設の人出(2022年)

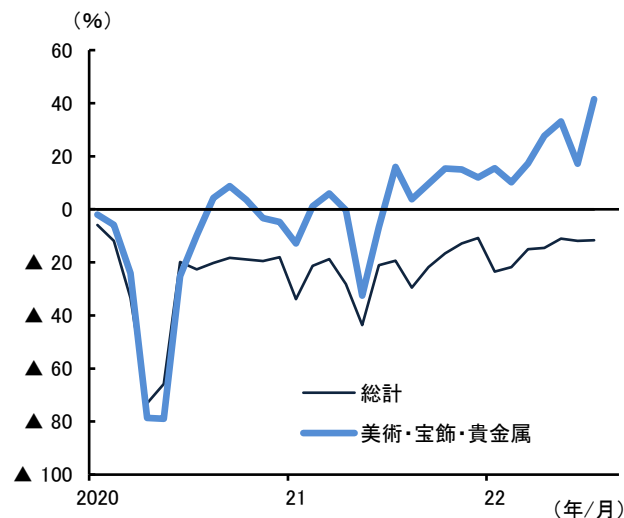


(資料)厚生労働省、Google

(注意)後方7日移動平均。

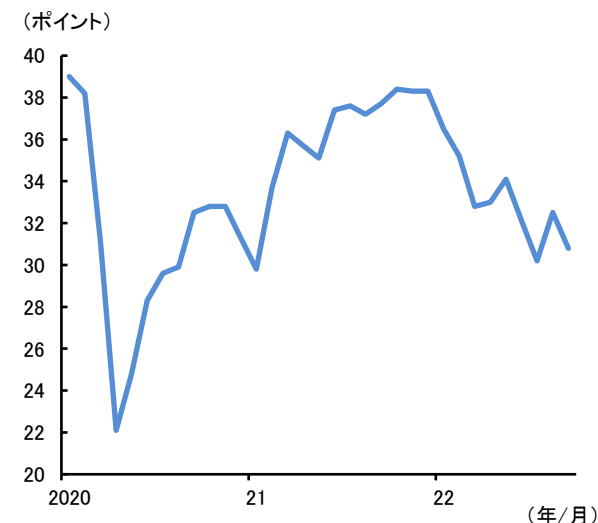
(月/日)

百貨店売上高(2018年同月対比)



(資料)日本百貨店協会

消費者態度指数(季調値)



(資料)内閣府

トピック：円安による貿易収支の改善効果は低下

◆円安でも輸出数量は増加せず

為替相場と貿易収支の関係が希薄化する傾向。円安には、外貨建ての輸出価格の引き下げを通じて、輸出数量を押し上げる効果があるが、近年、その効果が低下。試算によれば、1%の円安が輸出数量を押し上げる効果は2010年代に0.1%程度と、2000年代の4分の1に低下。なかでも、機械類の効果が大幅に低下。

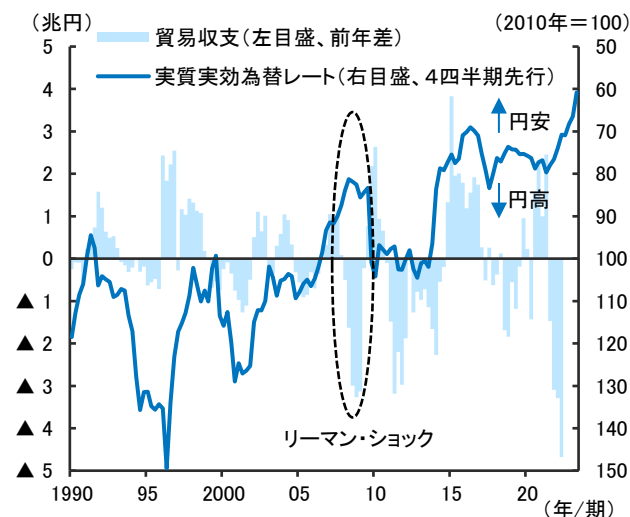
この一因として、輸出財の高付加価値化を指摘可能。低付加価値な製品の生産拠点が海外にシフトするとともに、わが国で生産する輸出財の高付加価値化が進展。価格競争に巻き込まれにくい財が輸出の中心になったことで、為替変動が輸出数量に与える影響は限定的に。

◆貿易収支の改善効果は低下

円安による輸出数量の押し上げ効果が低下するとともに、輸入数量の押し下げ効果も低下。この背景として、世界供給網の広がりや価格変動の影響を受けにくい部材の輸入が増加したことなどが指摘可能。

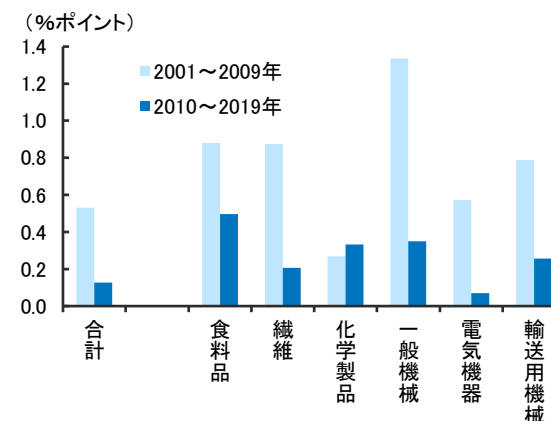
この結果、円安が進行すると貿易赤字が拡大しやすい経済体質に。理論的には、1%の円安による輸出の増加率と輸入の減少率の和が1%を超える場合、貿易収支は改善（マーシャル・ラーナー条件）。試算によれば、2000年代と異なり、2010年代は円安が貿易収支を悪化させる効果。円安は貿易赤字をもたらし、これが実需面からの一段の円安圧力を高める構図に。

実質実効為替レートと貿易収支



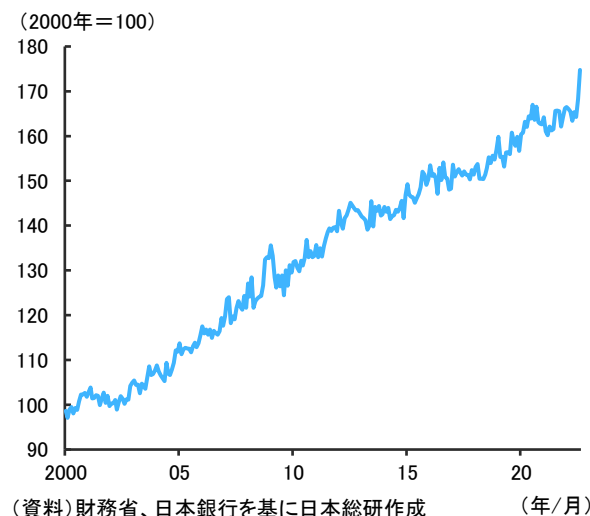
(資料)財務省、日本銀行

1%の円安に対する輸出数量の反応



(資料)オランダ経済政策分析局、財務省を基に日本総研作成
(注)世界輸入量、実質実効為替レート、輸出数量からなる3変数VARモデルのインパルス応答関数から試算。実質実効為替レートの減価ショックに対する輸出数量の12カ月後の累積反応。

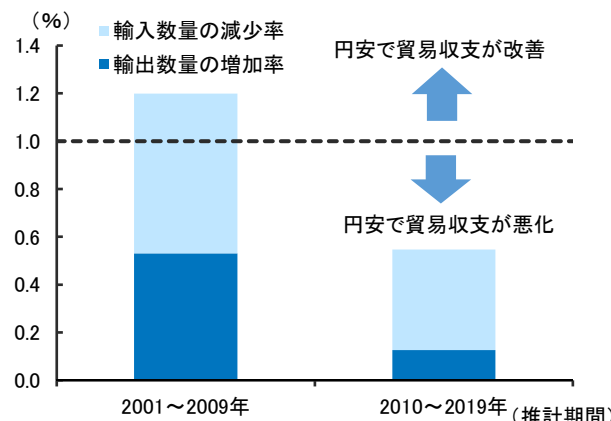
輸出財の高付加価値化指数



(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注)高付加価値化指数＝輸出物価指数/輸出価格指数

1%の円安による輸出入数量の変化率



(資料)内閣府、財務省などを基に日本総研作成

(注)輸入数量への影響は、日本の実質GDP、輸入デフレーターとGDPデフレーターとの比、輸入数量からなる3変数VARモデルのインパルス応答関数から試算。

■ 内需主導で緩やかに回復

◆消費と設備投資が回復をけん引

7～9月期は、個人消費を中心に回復ペースが鈍化。夏場の全国的な感染再拡大を受けたサービス消費の伸び悩みが主因。

10～12月期以降は、内需主導で緩やかに回復する見通し。個人消費は、感染状況が落ち着くにつれ、本格的に回復する見込み。エネルギーや食料品などの価格上昇が家計の購買力を下押しするものの、コロナ禍で積み上がった過剰貯蓄や政府の物価高対策が個人消費の下支えに。設備投資は、高水準の企業収益を背景に、増加基調が続く見通し。脱炭素化に向けた研究開発投資や、デジタル化・省力化を目的とする情報化投資が活発化。

輸出は、海外経済の減速を背景に、緩やかな伸びにとどまる見通し。品目別では、自動車などの挽回生産が押し上げに寄与するものの、電子部品関連は弱めの動きを予想。

◆2022年度の成長率は+1.9%

2022年度の成長率は+1.9%と、コロナ禍による落ち込みからのリバウンドを背景に高めのプラス成長となる見通し。2023年度は+1.4%と、潜在成長率を上回る成長。ただし、海外経済の減速などが重石となり、回復ペースは緩やか。実質GDPがコロナ前のピーク水準（2019年4～6月期）を回復するのは、2024年度にずれ込む見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2022年10月13日時点)

	2022年				2023年				2024年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)		
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	2021年度	2022年度	2023年度
実質GDP	0.2	3.5	1.1	2.2	1.8	1.4	1.1	0.9	0.9	(実績)	(予測)	
個人消費	1.2	4.8	0.8	2.4	1.8	1.2	1.0	0.8	0.8	2.3	1.9	1.4
住宅投資	▲ 5.6	▲ 7.3	3.4	1.8	1.8	1.6	0.2	0.0	▲ 0.1	2.6	3.0	1.3
設備投資	▲ 0.5	8.3	4.0	3.6	3.4	2.8	2.4	2.2	2.2	▲ 1.6	▲ 3.0	1.2
在庫投資 (寄与度)	(2.2)	(▲ 1.1)	(▲ 0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	0.6	3.1	2.9
政府消費	1.6	2.8	0.5	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	(0.1)	(0.0)	(▲ 0.0)
公共投資	▲ 12	3.9	3.4	2.8	2.0	1.4	0.8	0.2	0.2	2.0	1.3	0.3
純輸出 (寄与度)	(▲ 2.0)	(0.2)	(▲ 0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	▲ 7.5	▲ 2.6	1.4
輸出	3.6	3.7	1.8	1.6	1.6	1.4	1.4	1.2	1.2	(0.8)	(▲ 0.2)	(▲ 0.0)
輸入	14.7	2.2	1.6	1.6	1.6	1.2	1.2	1.0	1.0	12.5	2.6	1.5
										7.2	3.6	1.3

										(前年同期比、%)		
名目GDP	0.2	1.2	2.2	2.8	3.0	2.8	2.5	1.9	1.7	1.3	2.3	2.2
GDPデフレーター	▲ 0.5	▲ 0.3	0.1	0.9	0.7	1.0	0.9	0.6	0.6	▲ 1.0	0.4	0.8
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	2.1	2.7	3.1	2.6	1.7	1.2	0.7	0.5	0.1	2.7	1.4
鉱工業生産	▲ 0.7	▲ 3.6	3.7	6.6	6.8	10.1	4.1	1.6	0.9	5.7	3.4	4.0
完全失業率 (%)	2.7	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.8	2.5	2.4
経常収支 (兆円)	3.00	0.50	0.44	0.12	1.21	0.82	1.92	0.49	3.39	12.64	2.26	6.62
対名目GDP比 (%)	2.2	0.4	0.3	0.1	0.9	0.6	1.4	0.3	2.4	2.3	0.4	1.2
円ドル相場 (円/ドル)	116	130	138	145	143	142	141	140	138	112	139	140
原油輸入価格 (ドル/バレル)	85	109	109	93	94	90	91	89	85	76	101	89

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2021年 (実績)	2022年 (予測)	2023年
米国	6.7	1.7	1.3
ユーロ圏	5.3	3.3	0.5
中国	8.1	3.3	4.9

過去の実質GDP予測値

	(前年比、%)		
	2021年度 (実績)	2022年度 (予測)	2023年度
7月号	2.2	2.6	1.4
8月号	2.2	2.4	1.4
9月号	2.3	1.9	1.4

コアCPIは前年比3%超に達した後、来年末には1%割れへ

◆財価格の上昇に広がり

8月のコアCPIは前年比+2.8%と、5ヵ月連続で日銀の物価目標である2%を超えて推移。食料やエネルギー価格の上昇が全体を押し上げているほか、耐久財などでも価格上昇。財のうち上昇品目の割合は7割近くに増加。

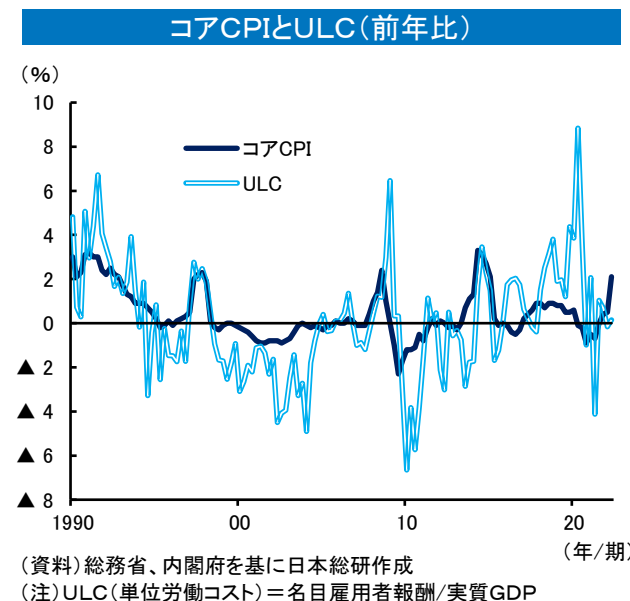
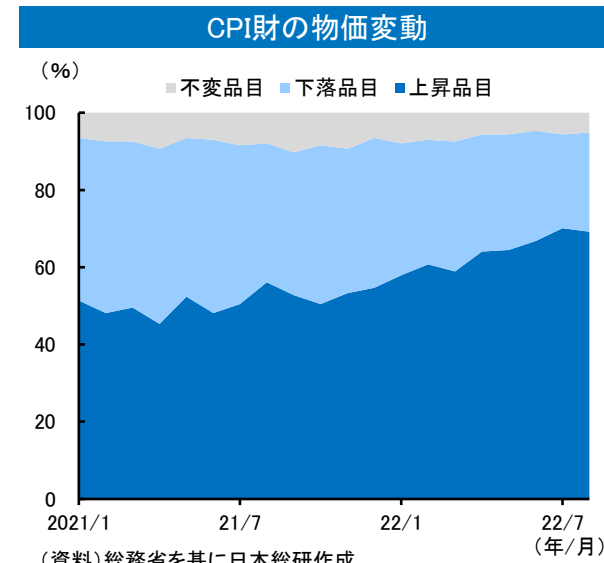
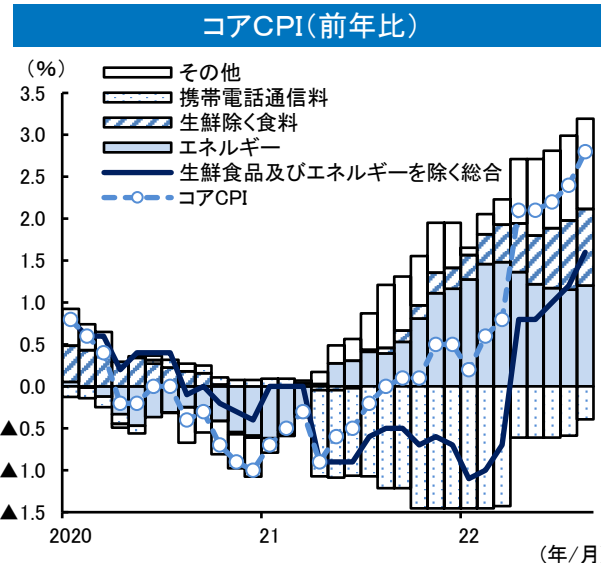
年末にかけて、コアCPIは前年比3%超に達する見込み。ガソリン補助金の延長などにより、エネルギー価格の伸びは抑制されるものの、円安の影響を受けやすい食料品の値上げが続くと予想。

その後、コアCPIの伸びは来年末にかけて1%割れへと縮小する見通し。資源高や円安の進行が一服するにつれて、輸入コストの上昇を価格に転嫁する動きが弱まると予想。賃金の伸びが限定的にとどまっていることから、労働コストの動きがインフレにつながる兆しもなし。

◆長期金利は現状水準近辺で推移

日銀は、9月の金融政策決定会合で、現行の緩やかな金融政策の維持を決定。長期金利は、米国の大幅利上げ観測を背景とする金利上昇圧力が強まったことで、日銀が上限と位置付ける0.25%近辺へ上昇。

先行きを展望すると、日銀は需要面の強さが主導する物価の持続的な上昇が見通せないなかで、従来からの金融緩和姿勢を堅持する見込み。そのため、長期金利は現行水準近辺での推移が続く見込み。



内外市場データ（月中平均）

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
18/12	▲ 0.07	0.05	0.09	0.01	0.04	0.20	▲ 0.14	0.04	1.48	1.00	112.17	127.60	21032.42	1565.86	2.27	2.79	2.83	23805.55	▲ 0.31	0.25
19/1	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.00	0.01	0.17	▲ 0.16	0.01	1.48	1.00	108.99	124.47	20460.51	1541.56	2.40	2.77	2.71	24157.80	▲ 0.31	0.22
19/2	▲ 0.06	0.03	0.09	▲ 0.02	▲ 0.01	0.15	▲ 0.17	▲ 0.02	1.48	1.00	110.46	125.32	21123.64	1592.61	2.40	2.68	2.67	25605.53	▲ 0.31	0.13
19/3	▲ 0.05	0.03	0.09	▲ 0.03	▲ 0.02	0.13	▲ 0.16	▲ 0.04	1.48	1.00	111.13	125.58	21414.88	1602.83	2.41	2.61	2.57	25722.62	▲ 0.31	0.06
19/4	▲ 0.07	0.05	0.10	▲ 0.02	▲ 0.01	0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	1.48	1.00	111.69	125.46	21964.86	1618.12	2.42	2.59	2.53	26401.58	▲ 0.31	0.01
19/5	▲ 0.05	0.05	0.10	▲ 0.03	▲ 0.02	0.11	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	1.00	109.98	122.99	21218.38	1547.17	2.39	2.53	2.39	25744.79	▲ 0.31	▲ 0.08
19/6	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.09	▲ 0.09	0.04	▲ 0.21	▲ 0.13	1.48	1.00	108.07	122.06	21060.21	1540.08	2.38	2.40	2.07	26160.10	▲ 0.33	▲ 0.27
19/7	▲ 0.07	0.04	0.11	▲ 0.09	▲ 0.10	0.03	▲ 0.20	▲ 0.14	1.48	0.96	108.25	121.38	21593.68	1573.16	2.40	2.29	2.05	27089.19	▲ 0.37	▲ 0.34
19/8	▲ 0.05	0.04	0.09	▲ 0.13	▲ 0.16	▲ 0.06	▲ 0.27	▲ 0.22	1.48	0.95	106.23	118.16	20629.68	1501.08	2.13	2.16	1.62	26058.23	▲ 0.41	▲ 0.63
19/9	▲ 0.06	0.01	0.06	▲ 0.13	▲ 0.14	▲ 0.04	▲ 0.29	▲ 0.22	1.48	0.95	107.51	118.34	21585.46	1579.13	2.04	2.13	1.69	26900.21	▲ 0.42	▲ 0.57
19/10	▲ 0.03	0.01	0.05	▲ 0.13	▲ 0.13	0.00	▲ 0.27	▲ 0.16	1.48	0.95	108.16	119.61	22197.47	1617.12	1.83	1.98	1.70	26736.80	▲ 0.41	▲ 0.45
19/11	▲ 0.05	0.02	0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.20	▲ 0.09	1.48	0.95	108.91	120.32	23278.09	1697.37	1.55	1.90	1.82	27797.05	▲ 0.40	▲ 0.33
19/12	▲ 0.04	0.02	0.05	▲ 0.01	0.01	0.11	▲ 0.12	▲ 0.01	1.48	0.95	109.11	121.26	23660.38	1724.59	1.55	1.91	1.86	28167.01	▲ 0.40	▲ 0.27
20/1	▲ 0.03	0.02	0.09	▲ 0.00	0.01	0.09	▲ 0.13	▲ 0.01	1.48	0.95	109.28	121.35	23642.92	1719.06	1.55	1.82	1.76	28879.99	▲ 0.39	▲ 0.27
20/2	▲ 0.02	0.02	0.09	▲ 0.05	▲ 0.07	0.02	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	0.95	110.03	120.00	23180.37	1669.97	1.58	1.68	1.51	28519.73	▲ 0.41	▲ 0.43
20/3	▲ 0.05	0.01	0.08	▲ 0.11	▲ 0.10	▲ 0.01	▲ 0.21	▲ 0.02	1.48	0.95	107.69	119.08	18974.00	1385.57	0.65	1.10	0.88	22637.42	▲ 0.42	▲ 0.52
20/4	▲ 0.04	▲ 0.00	0.09	▲ 0.04	▲ 0.05	0.02	▲ 0.14	0.01	1.48	1.06	107.80	117.18	19208.36	1412.35	0.05	1.09	0.65	23293.90	▲ 0.25	▲ 0.43
20/5	▲ 0.04	▲ 0.04	0.07	▲ 0.04	▲ 0.05	0.03	▲ 0.15	▲ 0.00	1.48	1.06	107.22	116.93	20543.26	1488.06	0.05	0.40	0.67	24271.02	▲ 0.27	▲ 0.50
20/6	▲ 0.05	▲ 0.05	0.05	▲ 0.03	▲ 0.03	0.06	▲ 0.14	0.02	1.48	1.05	107.61	121.14	22486.93	1585.75	0.08	0.31	0.72	26062.27	▲ 0.38	▲ 0.40
20/7	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.04	▲ 0.04	0.04	▲ 0.13	0.03	1.48	1.05	106.72	122.44	22529.47	1560.76	0.09	0.27	0.62	26385.83	▲ 0.44	▲ 0.46
20/8	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.03	▲ 0.03	0.05	▲ 0.11	0.04	1.48	1.01	106.05	125.44	22901.45	1595.08	0.10	0.25	0.65	27821.37	▲ 0.48	▲ 0.47
20/9	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.03	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	105.61	124.48	23306.95	1632.81	0.09	0.24	0.68	27733.40	▲ 0.49	▲ 0.49
20/10	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.05	▲ 0.12	0.03	1.48	1.00	105.21	123.80	23451.44	1629.03	0.09	0.22	0.78	28005.10	▲ 0.51	▲ 0.57
20/11	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.04	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	104.41	123.60	25384.87	1714.50	0.09	0.22	0.87	29124.04	▲ 0.52	▲ 0.57
20/12	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.04	▲ 0.12	0.02	1.48	1.00	103.76	126.32	26772.95	1780.72	0.09	0.23	0.92	30148.58	▲ 0.54	▲ 0.57
21/1	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.04	0.05	▲ 0.12	0.04	1.48	1.00	103.72	126.29	28189.06	1842.18	0.09	0.22	1.06	30821.35	▲ 0.55	▲ 0.53
21/2	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.04	▲ 0.01	0.12	▲ 0.11	0.09	1.48	1.00	105.37	127.44	29458.80	1911.21	0.08	0.19	1.24	31283.91	▲ 0.54	▲ 0.39
21/3	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.04	0.00	0.15	▲ 0.13	0.11	1.48	1.00	108.72	129.37	29315.30	1947.82	0.07	0.19	1.60	32373.29	▲ 0.54	▲ 0.32
21/4	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.13	▲ 0.12	0.10	1.48	1.00	109.03	130.52	29426.75	1941.37	0.07	0.18	1.62	33803.29	▲ 0.54	▲ 0.28
21/5	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.12	▲ 0.12	0.09	1.48	1.00	109.15	132.61	28517.09	1908.12	0.06	0.15	1.61	34270.31	▲ 0.54	▲ 0.17
21/6	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	▲ 0.01	0.10	▲ 0.11	0.06	1.48	1.00	110.15	132.63	28943.23	1953.44	0.08	0.13	1.51	34289.91	▲ 0.54	▲ 0.21
21/7	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	▲ 0.03	0.05	▲ 0.12	0.03	1.48	1.00	110.23	130.35	28118.76	1931.88	0.10	0.13	1.31	34798.80	▲ 0.55	▲ 0.35
21/8	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.02	▲ 0.02	0.05	▲ 0.12	0.02	1.48	1.00	109.84	129.27	27692.73	1931.13	0.09	0.12	1.28	35243.97	▲ 0.55	▲ 0.46
21/9	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.00	0.01	0.09	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	110.17	129.62	29893.57	2063.04	0.08	0.12	1.36	34688.42	▲ 0.55	▲ 0.30
21/10	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	0.01	0.04	0.14	▲ 0.10	0.09	1.48	1.00	113.17	131.28	28586.20	1991.44	0.08	0.13	1.58	35055.52	▲ 0.55	▲ 0.15
21/11	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	0.01	0.03	0.12	▲ 0.11	0.07	1.48	1.00	114.06	130.12	29370.61	2022.87	0.08	0.16	1.56	35848.57	▲ 0.57	▲ 0.25
21/12	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.05	0.00	0.02	0.11	▲ 0.10	0.06	1.48	1.00	113.93	128.84	28514.23	1976.98	0.08	0.21	1.46	35641.33	▲ 0.58	▲ 0.31
22/1	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.03	0.04	0.08	0.19	▲ 0.07	0.14	1.48	1.00	114.86	130.00	27903.99	1954.51	0.08	0.26	1.76	35456.14	▲ 0.56	▲ 0.06
22/2	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.03	0.08	0.14	0.28	▲ 0.03	0.21	1.48	1.08	115.23	130.70	27066.53	1917.67	0.08	0.43	1.93	34648.48	▲ 0.53	0.21
22/3	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.03	0.08	0.15	0.32	▲ 0.03	0.20	1.48	1.10	118.70	130.77	26584.08	1885.51	0.20	0.84	2.12	34029.74	▲ 0.50	0.33
22/4	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.00	0.10	0.21	0.42	▲ 0.05	0.24	1.48	1.10	126.41	136.53	27043.33	1902.34	0.33	1.11	2.75	34314.99	▲ 0.45	0.79
22/5	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.01	0.10	0.20	0.41	▲ 0.06	0.24	1.48	1.10	128.79	136.28	26653.77	1879.00	0.77	1.48	2.89	32379.46	▲ 0.39	1.00
22/6	▲ 0.04	▲ 0.01	0.02	0.13	0.25	0.49	▲ 0.06	0.24	1.48	1.18	134.15	141.71	26958.39	1895.96	1.21	2.00	3.13	31446.71	▲ 0.24	1.50
22/7	▲ 0.01	▲ 0.01	0.04	0.11	0.20	0.43	▲ 0.07	0.23	1.48	1.20	136.65	139.15	26986.74	1908.46	1.68	2.61	2.89	31535.32	0.04	1.14
22/8	▲ 0.02	▲ 0.02	▲ 0.02	0.10	0.18	0.38	▲ 0.09	0.20	1.48	1.20	135.36	137.02	28351.67	1964.16	1.68	2.95	2.89	33009.56	0.40	1.11
22/9	▲ 0.05	▲ 0.01	▲ 0.02	0.15	0.28	0.53	▲ 0.07	0.25	1.48	1.24	143.21	141.78	27418.99	1922.22	2.33	3.45	3.51	30649.56	1.01	1.83